

大森ガーデン10周年記念 浦島久 写真展「はるにれの詩」

共催：大森ガーデン、ジョイ・イングリッシュ・アカデミー
後援：広尾町観光協会、豊頃町観光協会
協力：朝日堂、写真工房、弘文堂画廊



会期：2018年7月14日（土）～8月19日（日）＊月曜定休（祝祭日は営業、翌平日休み）
会場：大森ガーデン（広尾町字紋別14線73）
入場無料（ガーデン入園の際は入場料がかかります）

オープニング・パーティー：7月14日（土）14:00【要予約／無料／定員40名】

ソフトドリンクとスナックを用意しています。浦島久、大森康雄、敬子が参加、写真を見ながらの芸術的パーティーです。

ギャラリートーク：7月15日（日）【要予約／無料／定員40名】

撮影にまつわるエピソード等をゲストとともにお話しします。各回とも1時間ほどを予定しています。
ゲスト：戸張良彦さん（1回目11:00）、浅井美紀さん（2回目14:00）

戸張良彦（とばり・よしひこ）

1955年東京都生まれ。1979年日本大学芸術学部写真学科卒、同年12月北海道帯広市に移住。スタジオパロス設立後、十勝平野の無限大の原風景をテーマに個展「風景の覚醒」（1998年）、個展「黒と白ノ覚醒図鑑」（2004年）他、覚醒シリーズを制作。2010年個展「十勝 rera 図鑑」、2013年道立帯広美術館企画展「道東アートファイル」に出品。2014年札幌国際芸術祭連携事業「表出する写真、北海道展」に参加。時空を越えたランドスケープ、大地の根源的なエネルギーを紙に定着させるため十勝に在住。2016年帯広市文化奨励賞受賞。



浅井美紀（あさい・みき）

北海道帯広市生まれ。幼い頃から色の遊びと写真鑑賞を好み、多くの写真を鑑賞。初めて一眼レフカメラを購入したのは2013年5月。雨上がりのしずくの美しさに魅了され、マクロレンズでしずく作品を作るようになる。写真投稿サイト「500px」への投稿が機となり、独自の神秘的な世界がイギリスのカメラ雑誌などで取り上げられ、日本でもさまざまなメディアで紹介されるように。2015年2月、初の写真集『幸せのしずく World of Water Drops』（扶桑社）を刊行。現在も会社員として働きながら、休日には花やアリと一緒に撮影した、小さなしずくの世界を作り続けている。



お申し込み

ジョイまで以下の方法でお名前とご連絡先をお知らせください（7月13日（金）午後9時まで受付）

電話 0155-33-0198 / メール joyadults@joyworld.com

*写真展はどなたもご覧いただけますが、パーティーとトークは準備の都合上、事前の申し込みをお願いします。